



第2回放課後子ども教室研修会

目的：放課後子ども教室推進事業の先進的な実施状況を見学したり、成果や現状について協議したりするなど、実践を学ぶための研修会を行い、事業に携わるコーディネーターやボランティア人材の資質の向上を図る。

実施日：平成30年10月12日（金） **場所**：二本松市二本松文化センター **参加者**：46名

情報交換「放課後子ども教室等の成果や課題」

行政担当者、コーディネーター、安全管理員、活動指導員、児童クラブ保育指導員などがグループになり、それぞれの立場から意見交換を行った。自分とは違う視点からの話を聞くことで、より良い放課後支援のあり方について考えを深めていった。



【参加者からの声】

- ・他の市町村の放課後子ども教室や、放課後児童クラブの様子を学ぶことができ、大変勉強になりました。
- ・放課後子ども教室も長年やっているところから、始めたばかりのところまで、いろいろあることがわかりました。教室そのものが狭くて、できることが限られている場合など、状況がいろいろあると感じました。充実した教室が運営できるように、環境を整えることや、ボランティアの人数を確保することなどが重要だと思いました。
- ・コーディネーターやボランティアの方々との情報交換では、いろいろな実践を聞くことができました。全部取り入れることは難しいですが、やれることからやってみようと思いました。
- ・それぞれの放課後子ども教室で、様々な工夫を凝らして活動していらっしゃると感じました。私も大変なときがありますが、こどもたちのために頑張っていければと思います。

演習「身近な材料で作る簡単な工作」

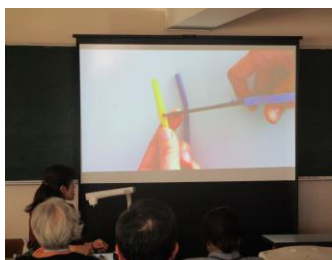
ムシテックワールド「ふくしま森の科学体験センター」指導主事 豊田多香子 氏

1 はじめに

- 室内で大勢が楽しめる工作にする3つのポイント
 - 「身近な材料でできる」
 - 「省スペースでできる」
 - 「年齢に応じた工夫ができる」

2 ストローを使った工作

- ① ストロー笛
- ② ストローボーン



3 折り紙を使った工作

① 種子の模型

- マツ…ひらひらと回転しながら落ちる。
- ニワウルシ…くるくる回りながら落ちる。
- アルソミドラ…グライダーのように飛ぶ。



② くるくるキャッチ…くるくる落ちてくるものを折り紙で作った紙コップでキャッチする。

【参加者の感想】

紙に簡単な細工をするだけで、空中を飛ばせることに感動しました。このような体験は貴重で、こどもたちに教えるために役立ちます。



4 牛乳パックを使った工作

- ① 宙ガエル
- ② 手裏剣ゴマ



5 コピー用紙を使った工作

- ① ペーパージャイロ
- ② マグヌスカップ

【参加者の感想】

たのしい工作で汗びっしょりになりました。ぜひ、こどもたちとつくってみたいと思います。ありがとうございました。

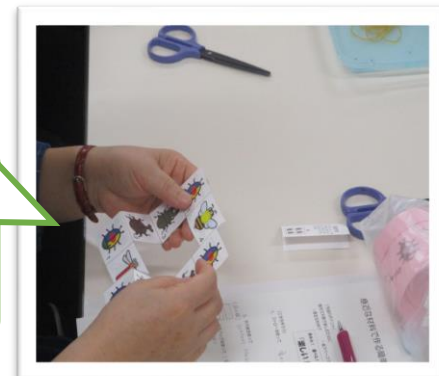


6 その他

- ① ペーパーパズル…16等分した紙を折りながら4つの絵をそろえる。

【参加者の感想】

明日からでも使える工作を教えていただき、ありがとうございました。プログラムに行き詰まったときにやってみたいと思います。低学年の子どもでも作ることができるので良かったです。



○ 参加者のみなさんが作り方や飛ばし方を教え合う姿が随所で見られ、和やかな雰囲気の中で和気あいあいと演習が行われました。自分で作った工作で音が出たり、遠くに飛んだりしたときの嬉しそうな表情が印象的でした。

また、講師の豊田氏に上手に作るためのポイントを質問したり、材料について意見を求めたりと、どの参加者も意欲的に演習に取り組んでいました。

